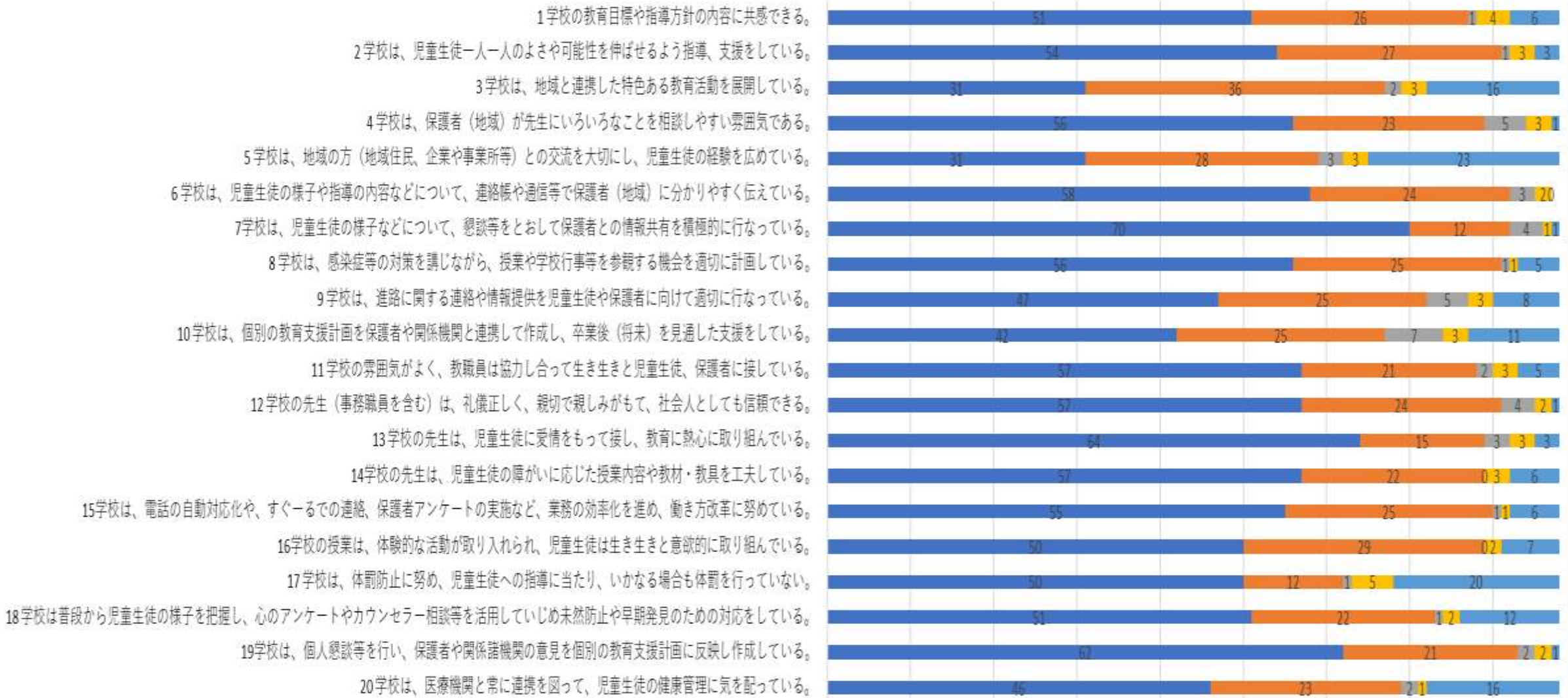


**令和6年度 羽島特別支援学校**

**学校評価について**

# 令和6年度小学部



■ A よくあてはまる ■ B ややあてはまる ■ C あまりあてはまらない ■ D まったくあてはまらない ■ E わからない

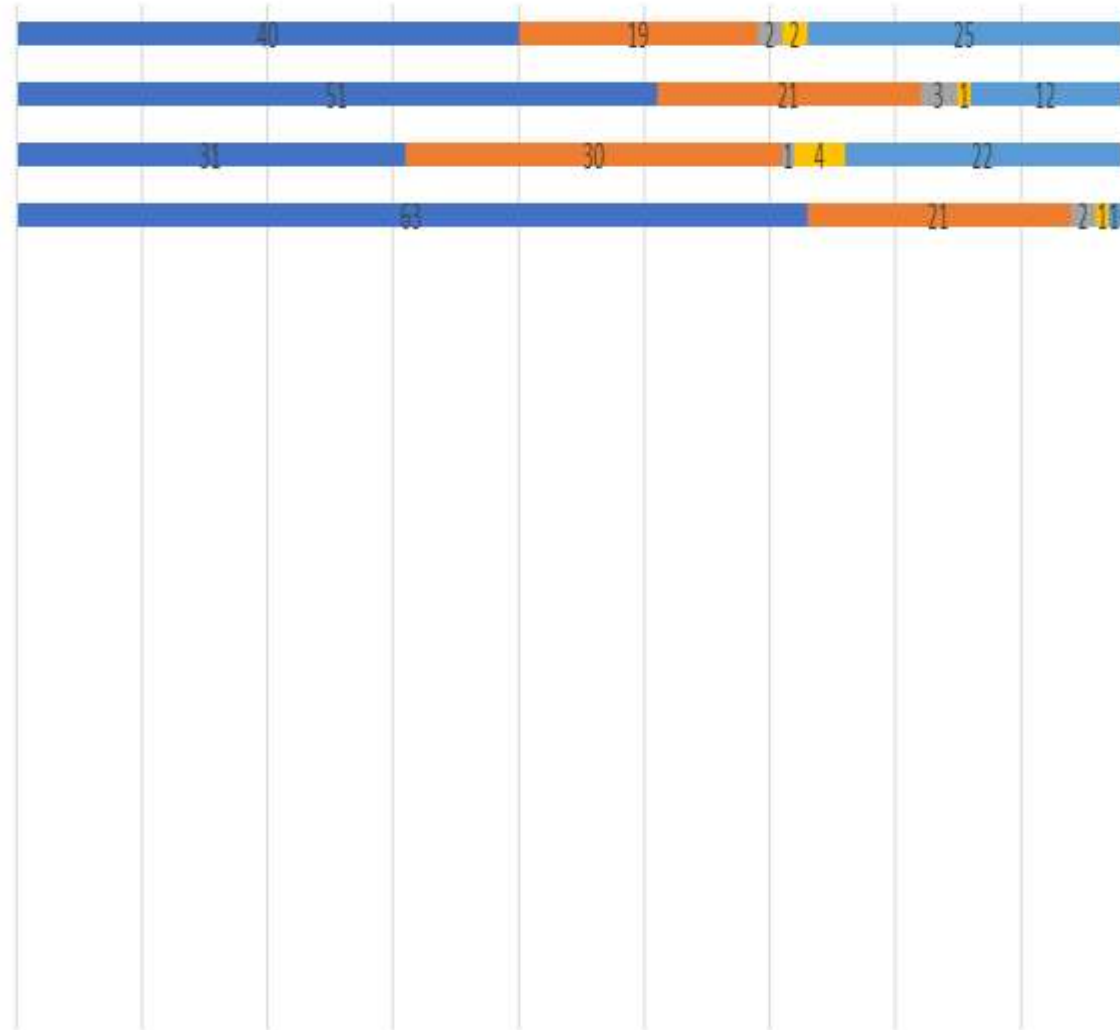
# 令和6年度小学部

21 学校は、現場実習、校内作業実習、職場見学等において、地域の企業や福祉施設等と連携を図り、きめ細かい就労支援を行っている。

22 学校は、児童生徒の安全に気を配り、緊急時の対応がしっかりしている。

23 学校は、地域に対し、新聞、地域の広報誌やホームページ等を通して広く教育活動をPRに努めている。

24 児童生徒は、毎日楽しく学校に通っている。



■ A よくあてはまる ■ B ややあてはまる ■ C あまりあてはまらない ■ D まったくあてはまらない ■ E わからない

# 小学部考察

## ① 高評価を得た内容

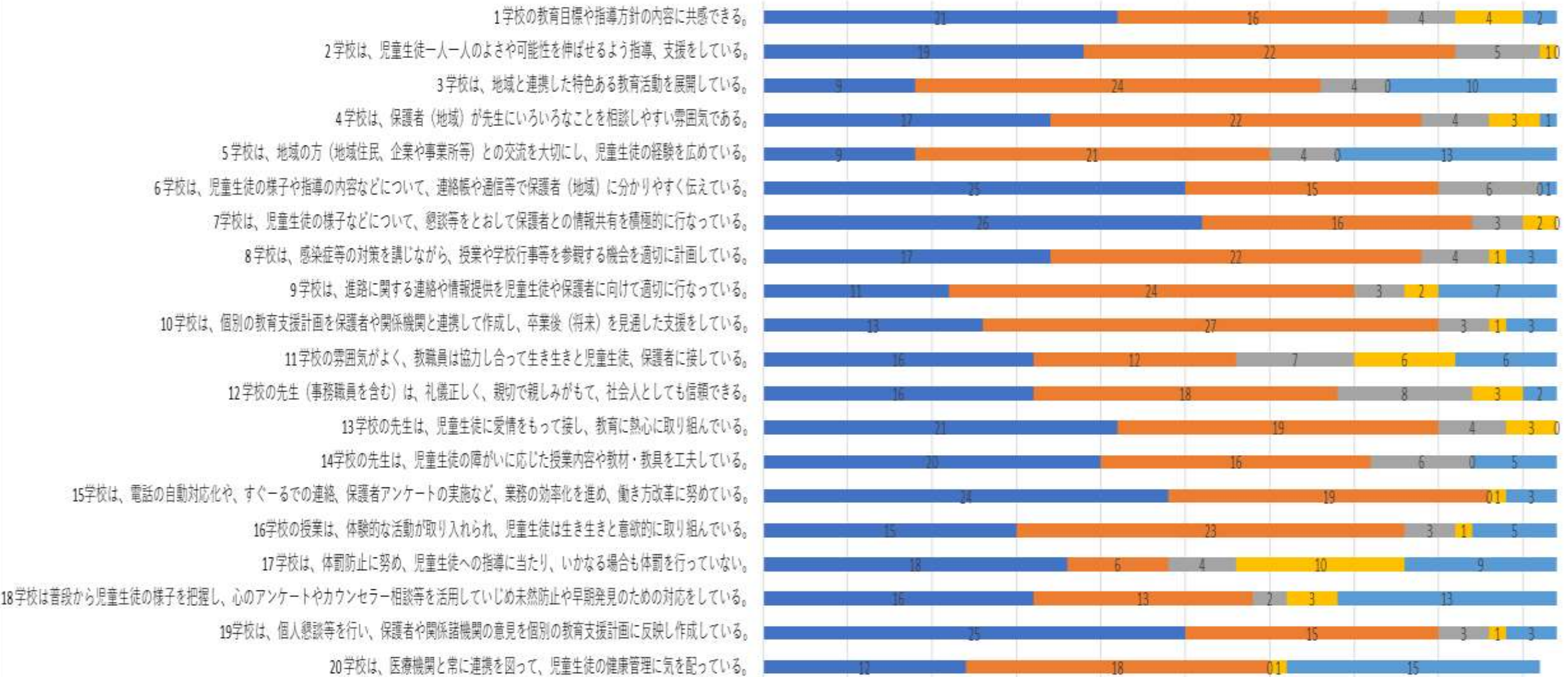
- ・全24項目中12項目で90%以上の、おおむね良い評価を得ている。
- ・特に、6「児童生徒の様子や指導内容を連絡帳や通信等で保護者にわかりやすく伝えている」、19「個人懇談等を行い、保護者や関係諸機関等の意見を個別の教育支援計画に反映して作成している」、24「毎日楽しく学校に通っている」の項目で、95%近くの良い評価を得ている。
- ・普段から、児童生徒や保護者に丁寧に接したり、説明したりしていることが、結果に結びついたと考えられる。

## ② 課題とすべき内容

- ・4「保護者が先生に相談しやすい雰囲気である」、9「進路に関する連絡や情報共有を適切に行っている」、10「卒業後（将来）を見通した支援」の項目について、約10%の保護者が「あまりあてはまらない・あてはまらない」と答えている。また、21「きめ細かい就労支援を行っている」については、「わからない」とする回答が約30%と多かった。
- ・進路について、疑問・不安に思っている保護者に対して、適切に助言・提案等ができるよう、小学部の教師自身が進路に関する知識を得て、その都度積極的に伝えていく努力が必要である。
- ・17「体罰防止に努め、いかなる場合も体罰を行っていない」、5「地域の方との交流を大切にし、児童生徒の経験を広めている」、23「地域に対して教育活動のPRに努めている」の項目については、「わからない」とする回答が約25%と多かった。
- ・今後も、学校での取組を、ホームページや通信等で情報発信していく必要がある。



# 令和6年度中学部



■ A よくあてはまる ■ B ややあてはまる ■ C あまりあてはまらない ■ D まったくあてはまらない ■ E わからない

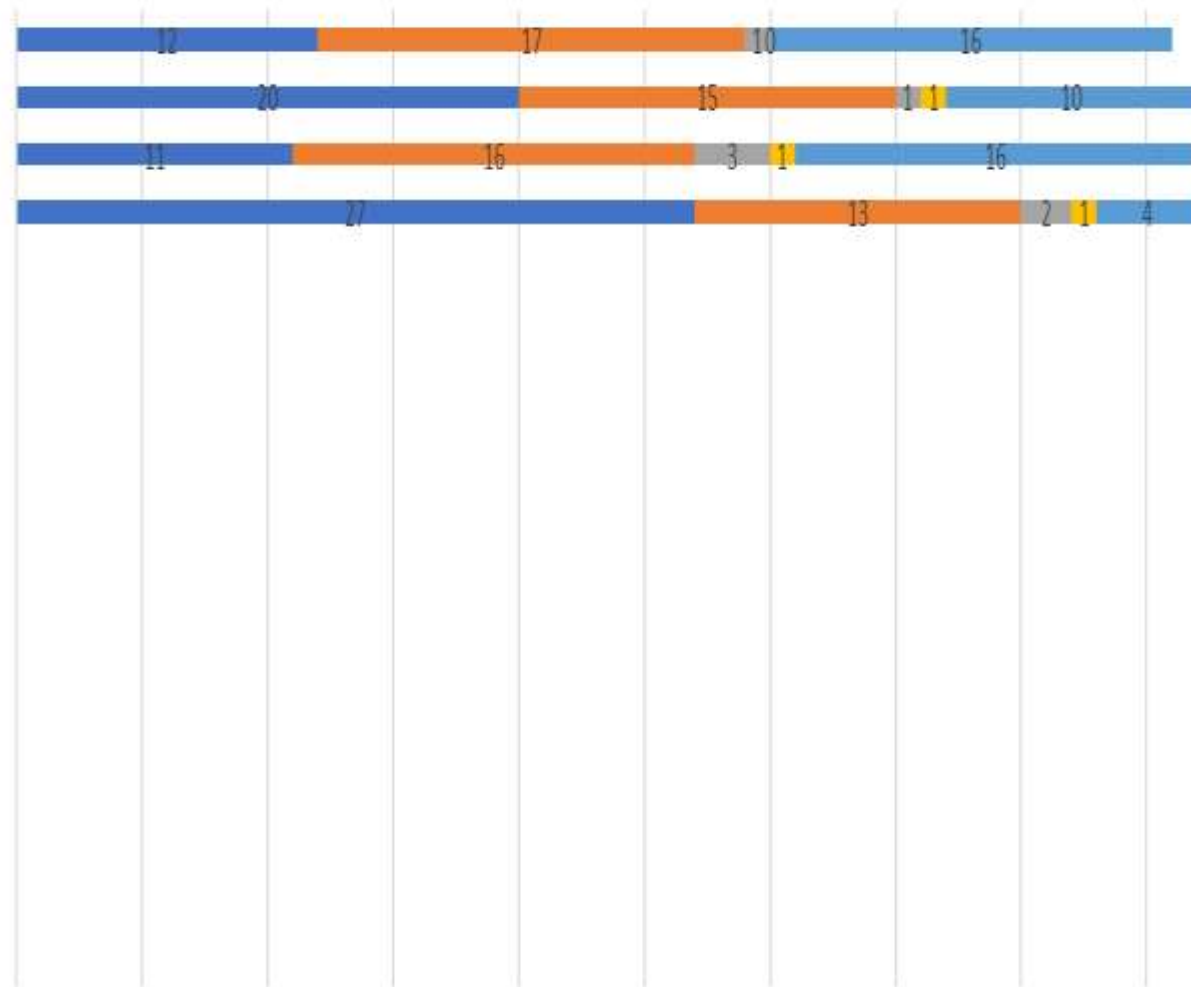
# 令和6年度中学部

21 学校は、現場実習、校内作業実習、職場見学等において、地域の企業や福祉施設等と連携を図り、きめ細かい就労支援を行っている。

22 学校は、児童生徒の安全に気を配り、緊急時の対応がしっかりしている。

23 学校は、地域に対し、新聞、地域の広報誌やホームページ等を通して広く教育活動をPRに努めている。

24 児童生徒は、毎日楽しく学校に通っている。



■ A よくあてはまる ■ B ややあてはまる ■ C あまりあてはまらない ■ D まったくあてはまらない ■ E わからない

# 中学部考察

## ①高評価を得た内容

- ・「家庭との連携」に関する項目は、おおむね85%以上のよい評価を得ている。

- ・特に、7「生徒の様子について、懇談等で保護者との情報共有を積極的に行っている。」や10、19の個別の教育支援計画の作成について、13「先生は生徒に愛情をもって接し、教育に熱心に取り組んでいる」15「すぐーるでの連絡、保護者アンケートの実施など、業務の効率化を進め、働き方改革に努めている」については高評価を得ている。

- ・日頃から連絡帳や電話等による保護者との連携を大切にし、生徒の様子や支援に関して情報共有を行ってきたことが結果に反映したと考えられる。

## ②課題とすべき内容

- ・3「地域と連携した特色ある教育活動を展開している」5「地域の方との交流を大切にし、児童生徒の経験を広めている」20「医療機関と常に連携を図って、児童生徒の健康管理に気を配っている」21「現場実習、校内作業実習、職場見学等において、地域の企業や福祉施設等と連携を図り、きめ細かい就労支援を行っている」については、「わからない」とした回答が多く見られた。3、5については地域との連携や交流の機会が少ないためと思われる。また、20の医療機関との連携は常に連携が必要でない場合もあること、21のきめ細かい就労支援については具体的な就労支援は中学部では行っていないことが原因と思われるが、職場見学や事業所見学等も行っているため、情報発信を続けていきたい。

- ・11「雰囲気がよく、教職員が協力し合って生き生きと生徒、保護者に接している」17「体罰防止に努め、生徒の指導に当たり、いかなる場合も体罰を行っていない」18「生徒の様子を把握し、いじめ未然防止や早期発見のための対応をしている」については「わからない」も含め、評価が低かった。学部内のコミュニケーションや風通しを良くするために、普段から連絡、相談することを心がけ、教職員の体罰やいじめを決して見逃さない高い人権意識を研修や部会での話し合い等を通して築いていきたい。



# 令和6年度高等部



■ A よくあてはまる ■ B ややあてはまる ■ C あまりあてはまらない ■ D まったくあてはまらない ■ E わからない



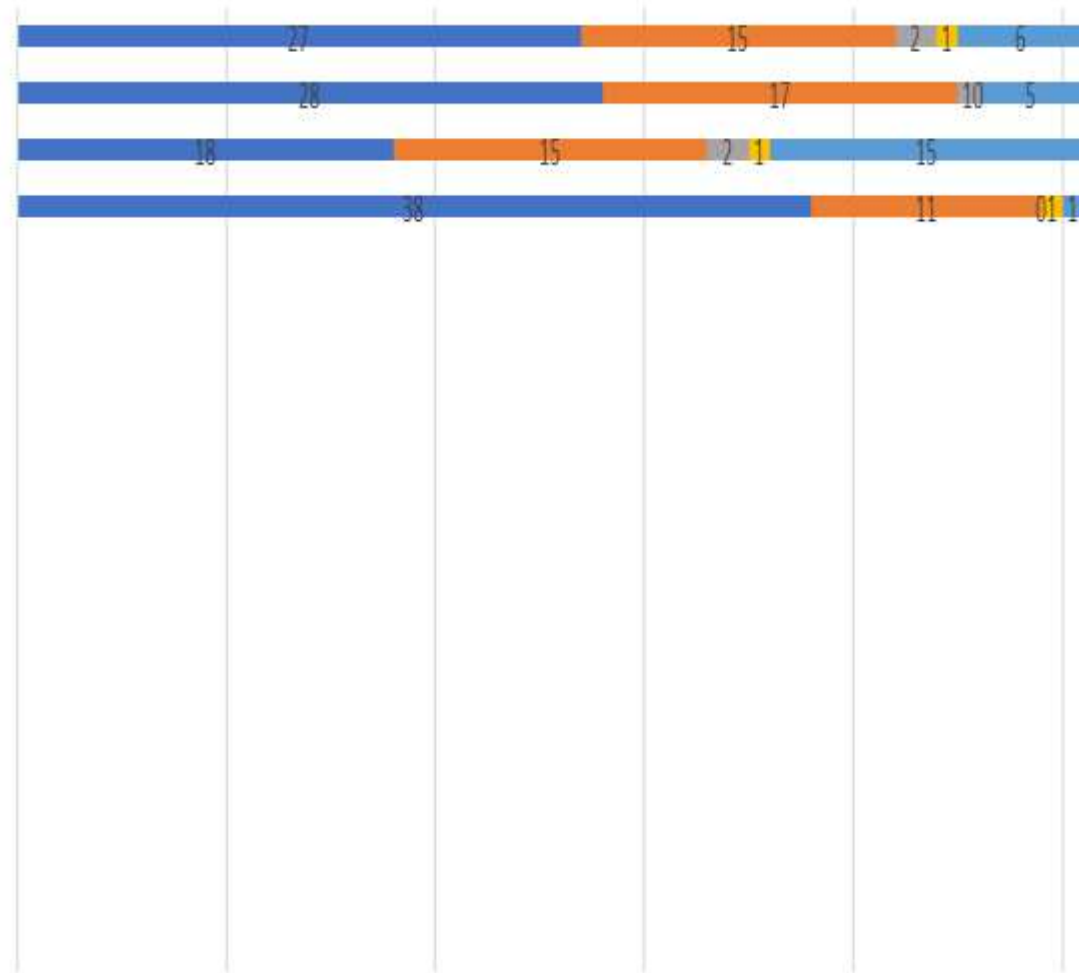
# 令和6年度高等部

21 学校は、現場実習、校内作業実習、職場見学等において、地域の企業や福祉施設等と連携を図り、きめ細かい就労支援を行っている。

22 学校は、児童生徒の安全に気を配り、緊急時の対応がしっかりしている。

23 学校は、地域に対し、新聞、地域の広報誌やホームページ等を通して広く教育活動をPRに努めている。

24 児童生徒は、毎日楽しく学校に通っている。



■ A よくあてはまる ■ B ややあてはまる ■ C あまりあてはまらない ■ D まったくあてはまらない ■ E わからない

# 高等部考察

## ① 高評価を得た内容

- 2 「児童生徒一人一人のよさや可能性を伸ばせるよう指導、支援している」
- 4 「保護者（地域）が先生にいろいろなことを相談しやすい雰囲気である」
- 6 「児童生徒の様子や指導の内容などについて、連絡帳や通信等で保護者（地域）にわかりやすく伝えている」
- 7 「児童生徒の様子などについて、懇談等をとおして保護者との情報共有を積極的に行っている」
- 10 「個別の教育支援計画を保護者や関係機関と連携して作成し、卒業後（将来）を見通した支援をしている」
- 19 「個人懇談等を行い、保護者や関係諸機関の意見を個別の教育支援計画に反映し作成している」
- 24 「毎日楽しく学校に通っている」が90%以上の高評価を得ている。

- ・各担任は保護者との連携を密にして生徒の様子や指導・支援について分かりやすく伝えていることが高評価へ結びつき、更に生徒が楽しく登校できていることにつながっていると考える。

## ② 課題とすべき内容

- 17 「体罰防止に努め、児童生徒への指導に当たり、いかなる場合も体罰を行っていない」
- 18 「普段から児童生徒の様子を把握し、心のアンケートやカウンセラー相談等を活用して、いじめ未然防止や早期発見のための対応をしている」
- 20 「医療機関と常に連携を図って、児童生徒の健康管理に気を配っている」
- 23 「地域に対し、新聞、地域の広報誌、ホームページ等をして広く教育活動のPRに努めている」については、約3割の保護者が「わからない」と答えている。

- ・昨年度に引き続き、「いじめ未然防止や早期発見」「医療機関との連携」については、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」はほとんどなく、「わからない」と2~3割の保護者が答えている。上記3つの内容については、学校の取組を何らかの方法で発信し、理解を求めていくことが必要であると考えます。

## 全体考察（外部評価も含めて）

- ・ 全体的に高評価を得ている。
- ・ 連絡帳や通信、懇談等での保護者との情報共有や関係機関との連携をふまえた個別の教育支援計画策定等についてはどの部も高評価を得ている。  
しかし、「相談のしやすさ」や「学校の雰囲気」「職員が生き生きと保護者と接している」等の点ではまらないというご意見も一部見られた。  
より信頼し合える関係の中で教育活動が行えるよう、所属の部に限らず、児童生徒や職員間、保護者との日頃からのコミュニケーションを大切にしていきたい。ここを柱として取り組むことで学校全体の円滑さへも影響すると考える。  
また、児童生徒への丁寧な授業展開や一人一人のニーズへのきめ細かな対応が行えるよう専門支援の活用や職員研修を行い、職員の資質や専門性を高めていきたい。
- ・ 地域や医療等外部機関との連携、進路、体罰・いじめ防止等、各分野において継続的に取り組むと共に、見えにくさについては今後も折々に情報発信を行っていき、学校行事や参観、販売会等で児童生徒の教育活動を積極的に公開していきたい。